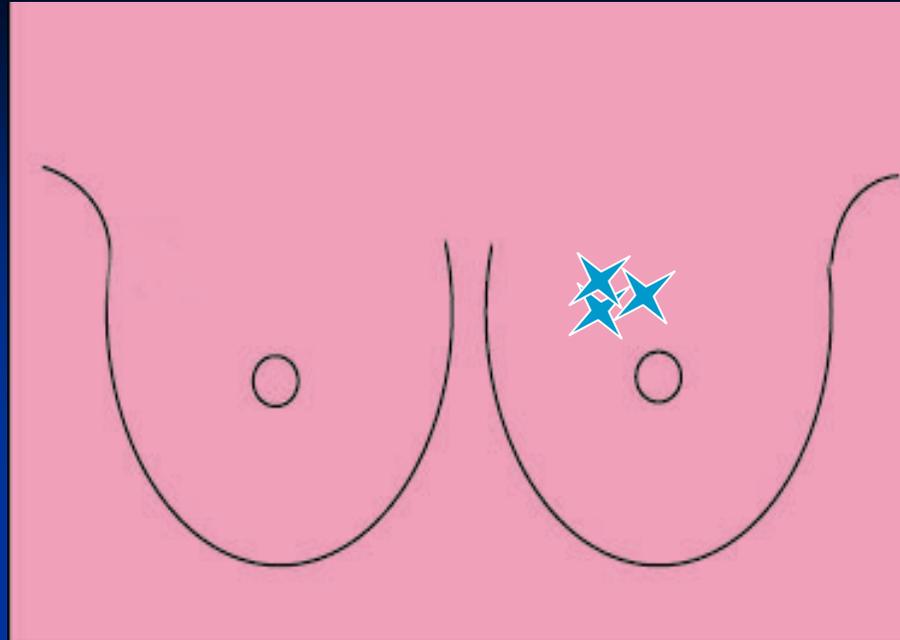


# 第47回日本臨床細胞学会秋季大会 スライドセミナー Case 5(乳腺)

- 日時: 2008年11月15日(土) 16:00~18:00
- 場所: グランドプリンスホテル新高輪  
・国際館パミール
- 杏林大学医学部病理学 菅間 博  
杏林大学付属病院病理部 水谷 奈津子

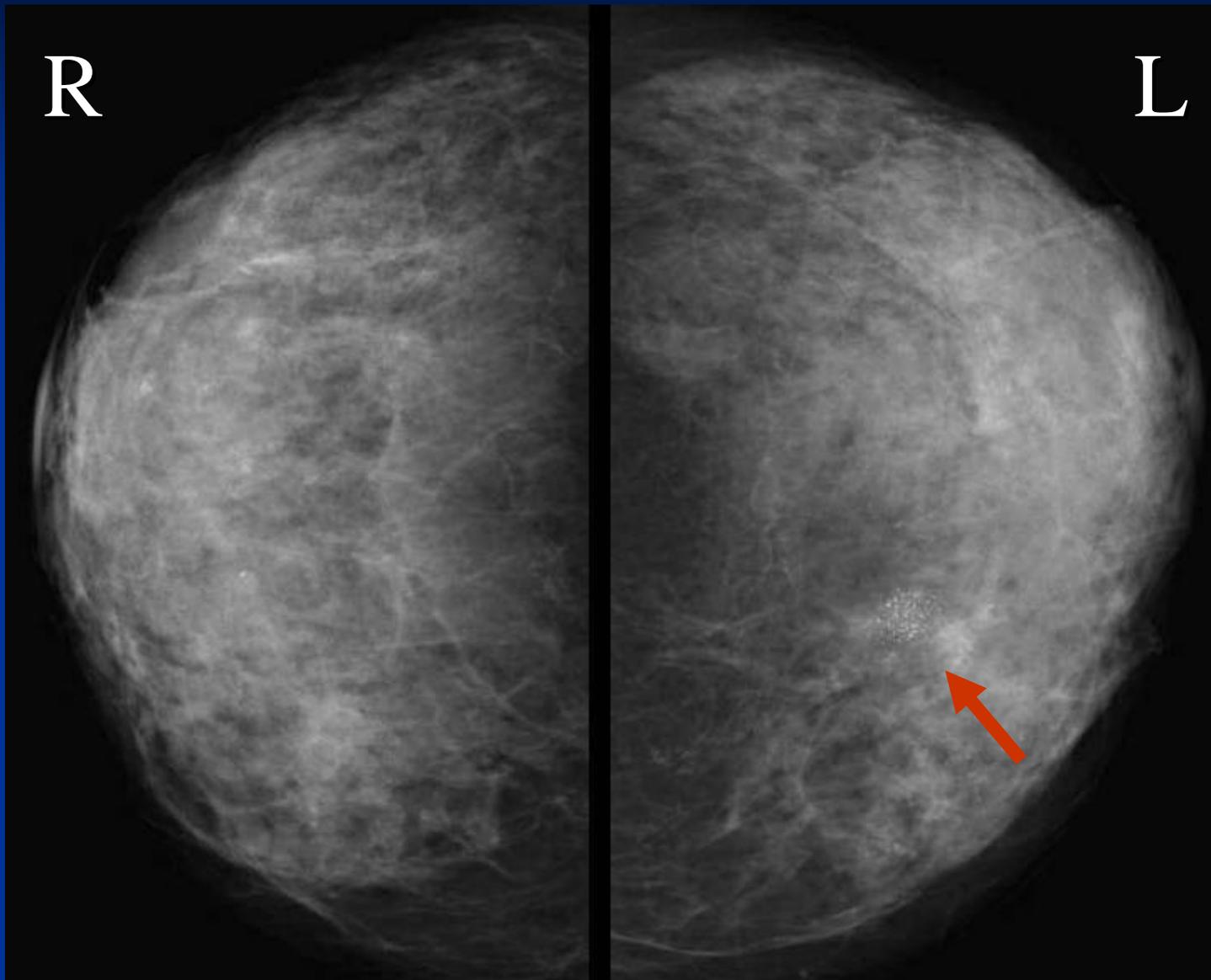
症 例：  
52歳、女性



現 病 歴：

左乳房腫瘍を自覚し来院、マンモグラフィにて、左A領域に微小石灰化を伴う境界不鮮明な腫瘍を指摘された。

# Mammography (CC view)



左乳房A領域に微小石灰化の集族を伴う径約2cm大の不整な腫瘍あり。

**提示標本：**

**(1) 同腫瘍からの穿刺吸引細胞診 (Fig.1-4)**

**(2) 左乳房部分切除標本からの模擬的穿刺  
吸引細胞診 (Fig.5-6)**

図-1(穿刺吸引細胞診)

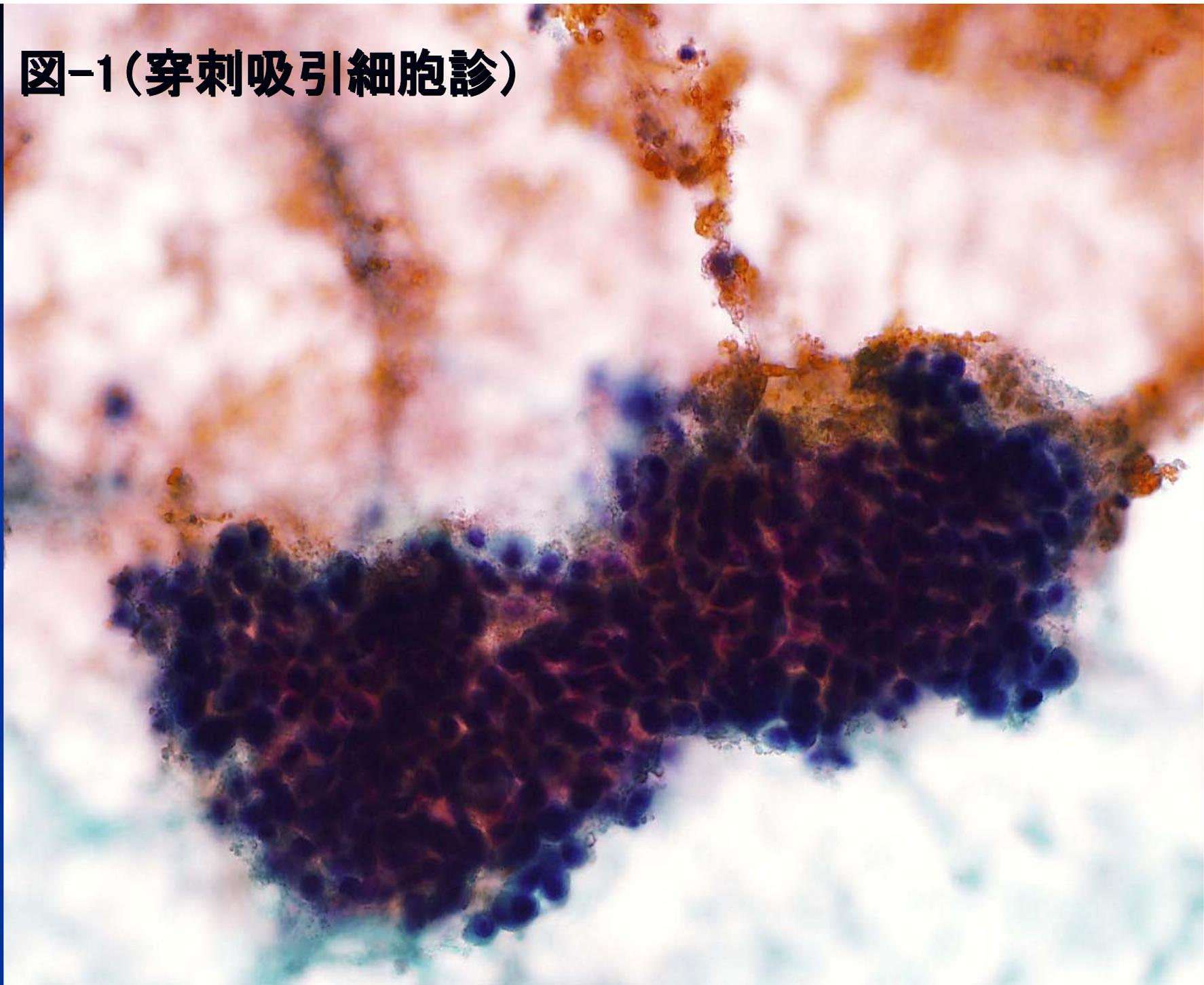


図-2 (穿刺吸引細胞診)

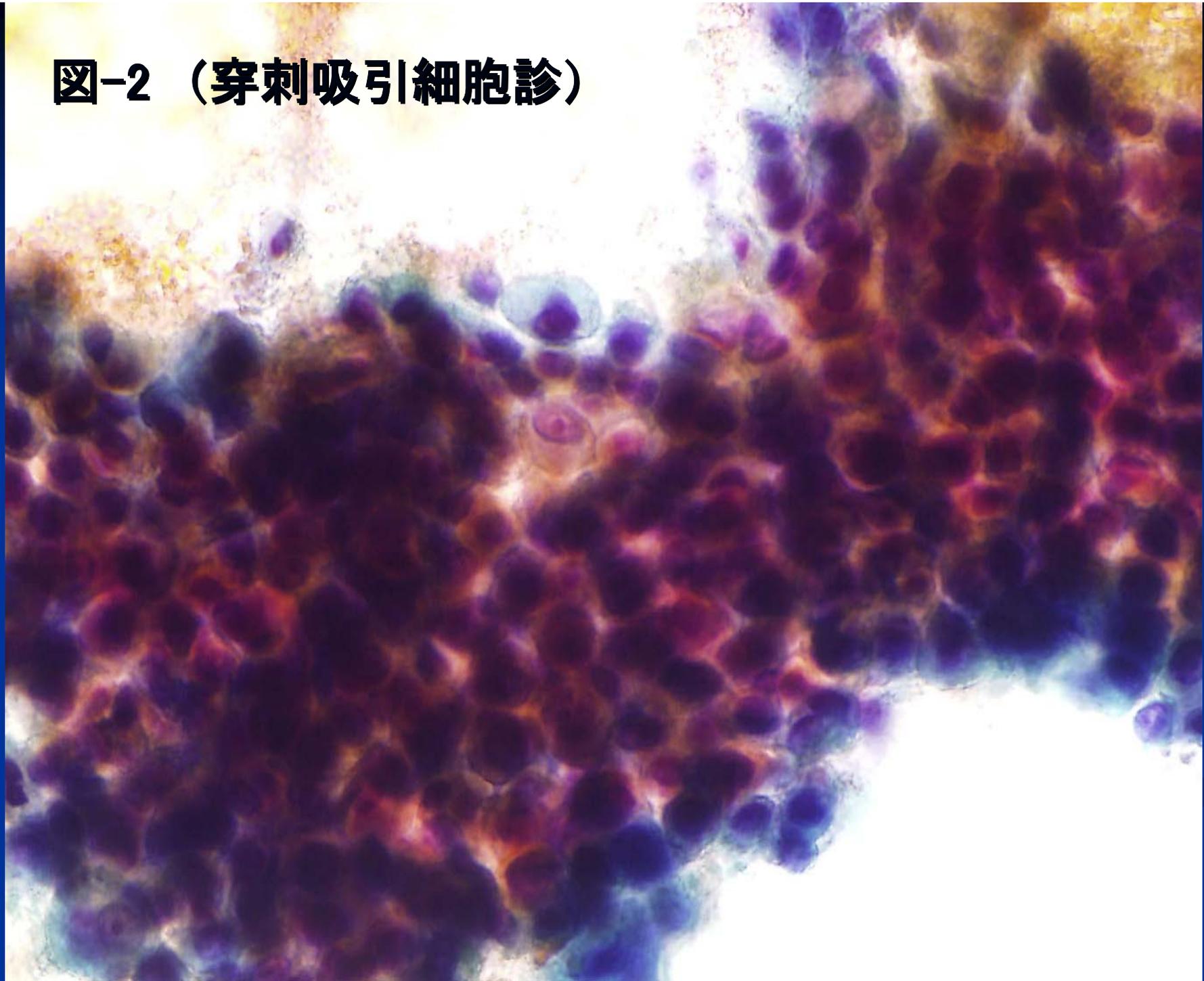


図-3 (穿刺吸引細胞診)

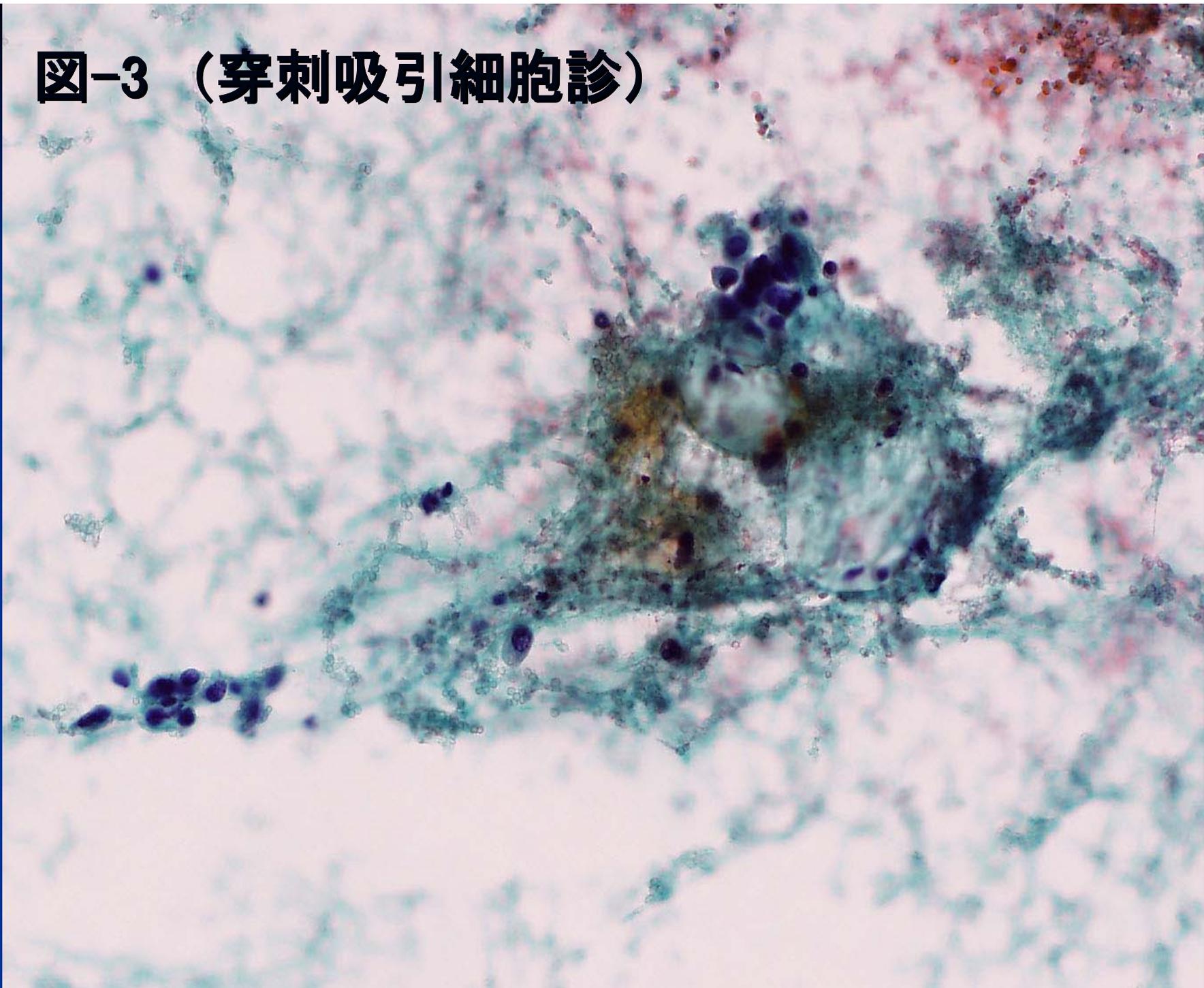
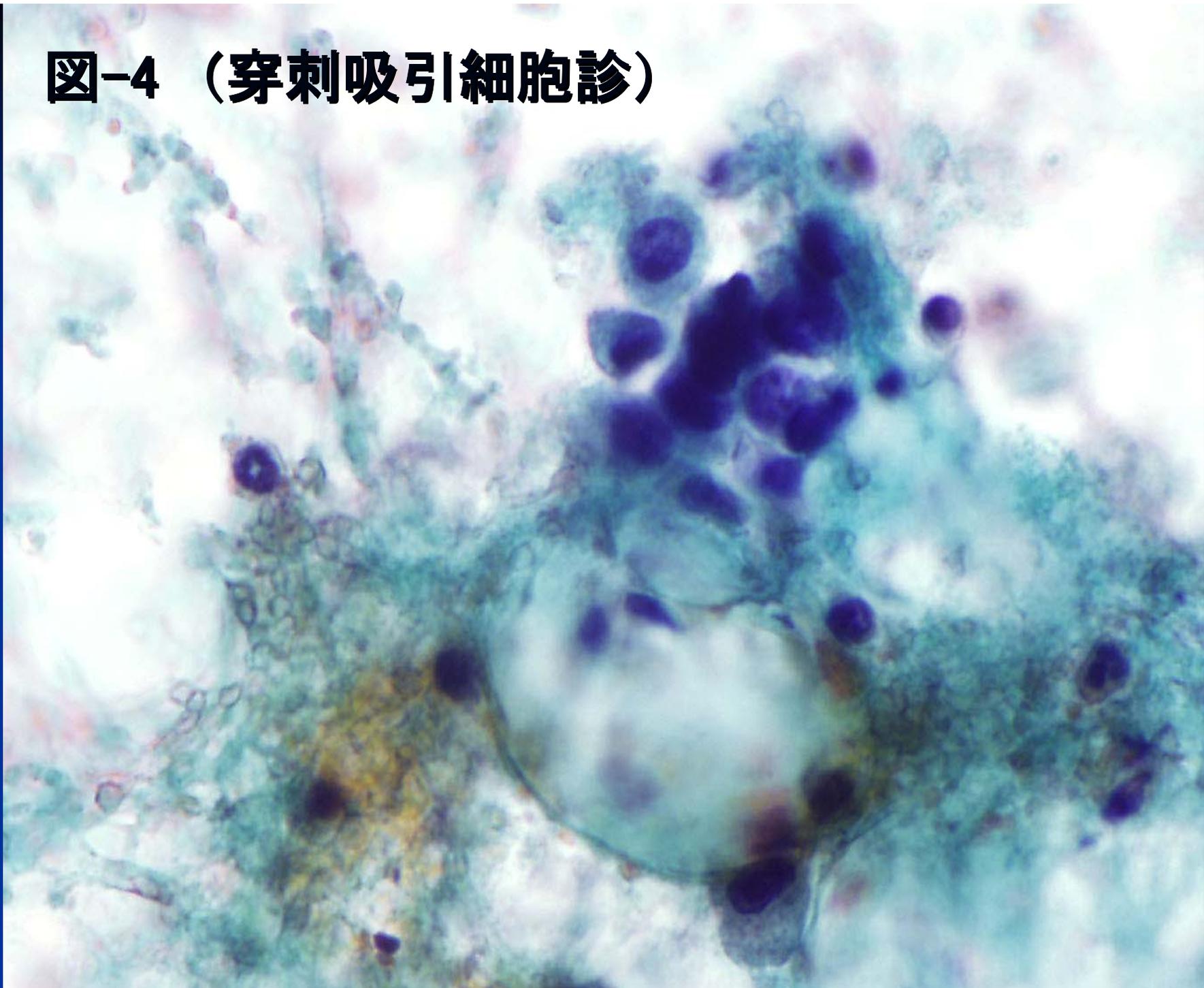
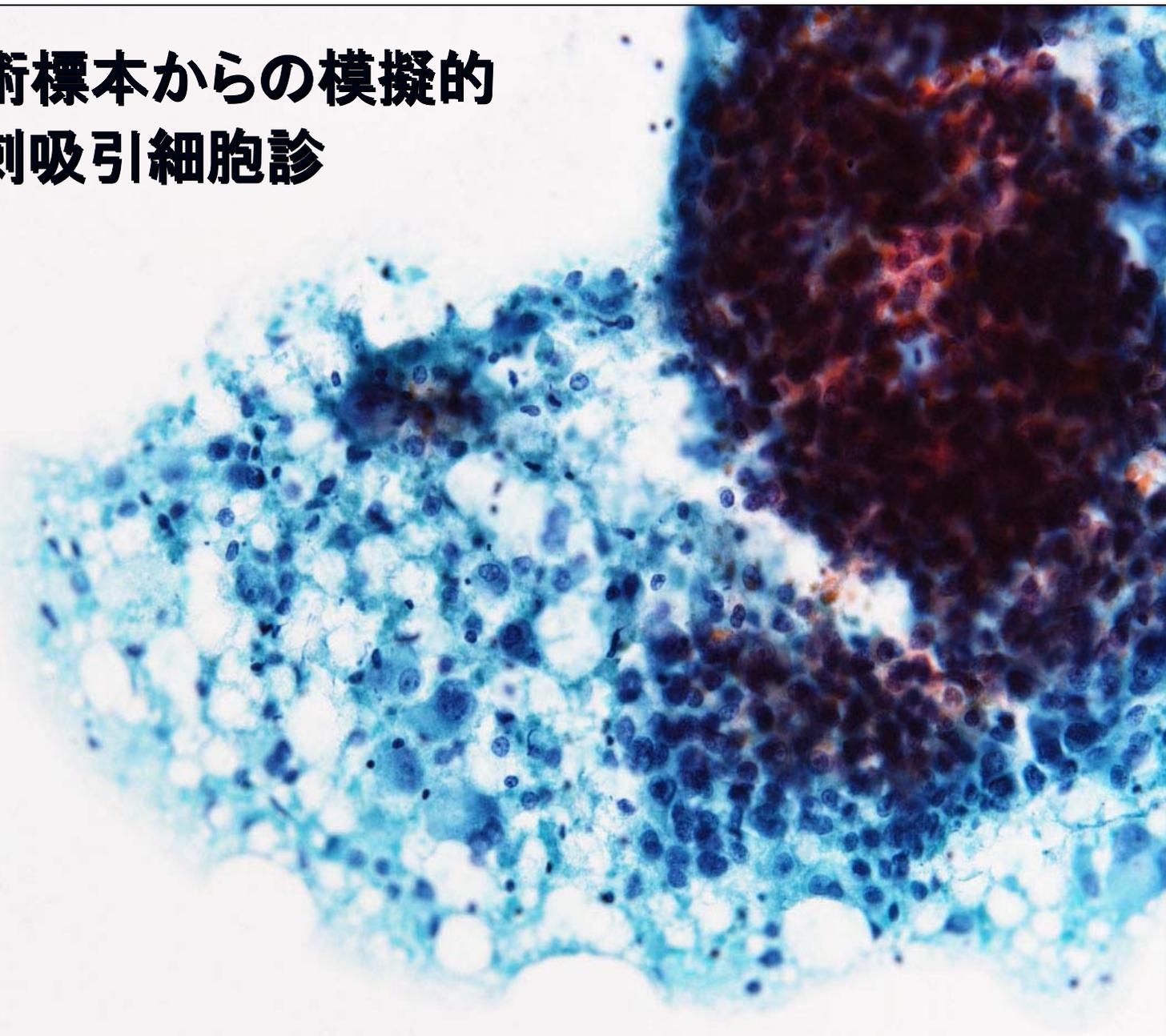


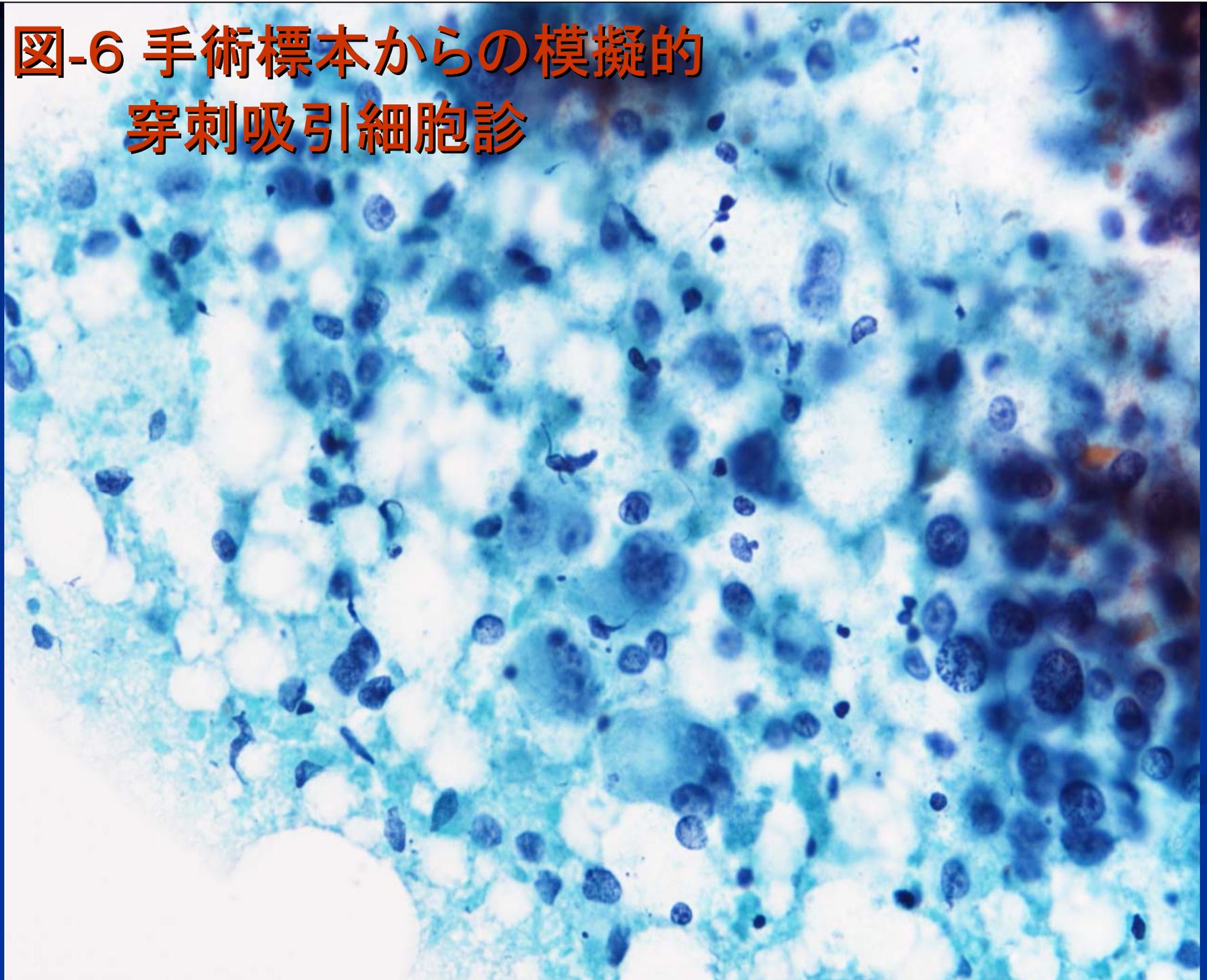
図-4 (穿刺吸引細胞診)



**図-5 手術標本からの模擬的  
穿刺吸引細胞診**



**図-6 手術標本からの模擬的  
穿刺吸引細胞診**



# 推定組織型アンケート

1. 浸潤性乳管癌
2. 粘液癌
3. 印環細胞癌（小葉癌起源）
4. 印環細胞癌（乳管癌起源）
5. アポクリン癌

# 投票結果

# Case 5

• 浸潤性乳管癌	0032
• 粘液癌	0005
• 印環細胞癌(小葉癌起源)	0020
• 印環細胞癌(乳管癌起源)	0028
• アポクリン癌	0010
<hr/>	
• 合計	0095

# 第47回日本臨床細胞学会秋季大会 スライドセミナー（解説用）

## Case 5（乳腺）

- 日時：2008年11月15日（土）16:00～18:00
- 場所：グランドプリンスホテル新高輪  
・国際館パミール
- 杏林大学医学部病理学 菅間 博  
杏林大学付属病院病理部 水谷 奈津子

# 推定組織型アンケート解答

- 1 ・ 浸潤性乳管癌 ○
- 2 ・ 粘液癌 △
- 3 ・ 印環細胞癌（小葉癌起源） ×
- 4 ・ 印環細胞癌（乳管癌起源） ◎
- 5 ・ アポクリン癌 ×

# 細胞診診断

**提示標本：**

**(1) 同腫瘍からの穿刺吸引細胞診 (Fig.1-4)**

**(2) 左乳房部分切除標本からの模擬的穿刺吸引細胞診 (Fig.5-6)**

図-1(穿刺吸引細胞診)

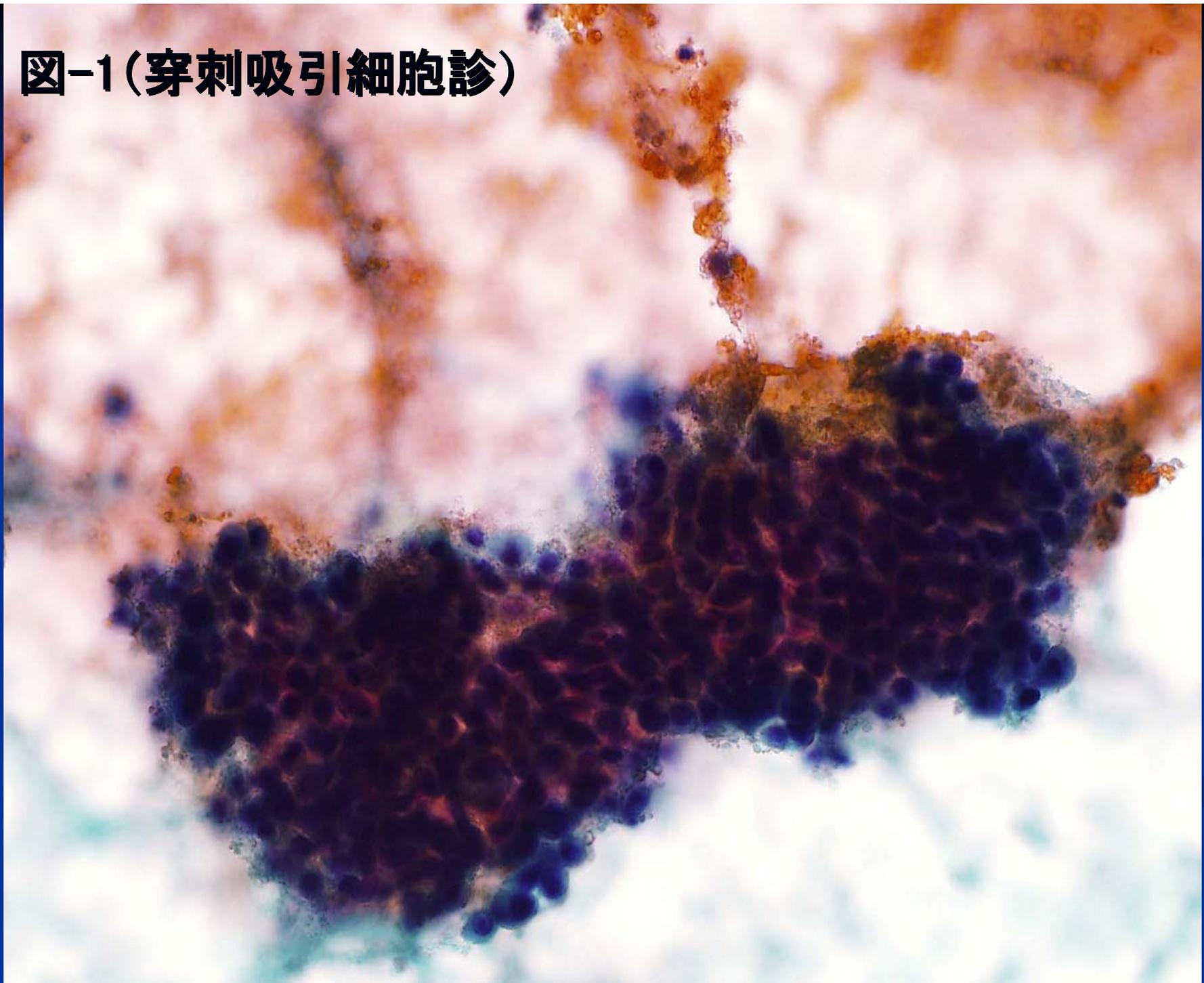


図-2 (穿刺吸引細胞診)

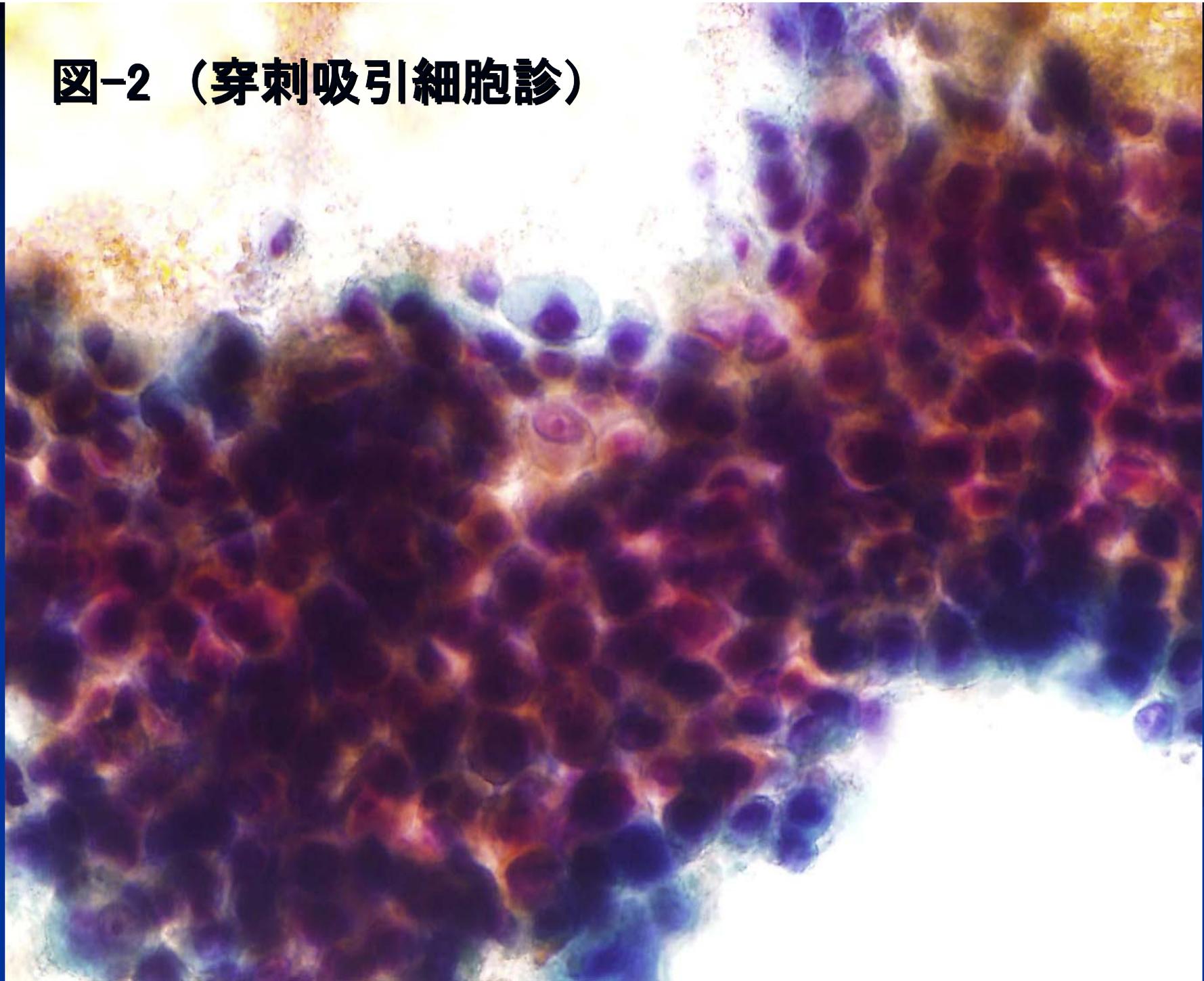


図-3 (穿刺吸引細胞診)

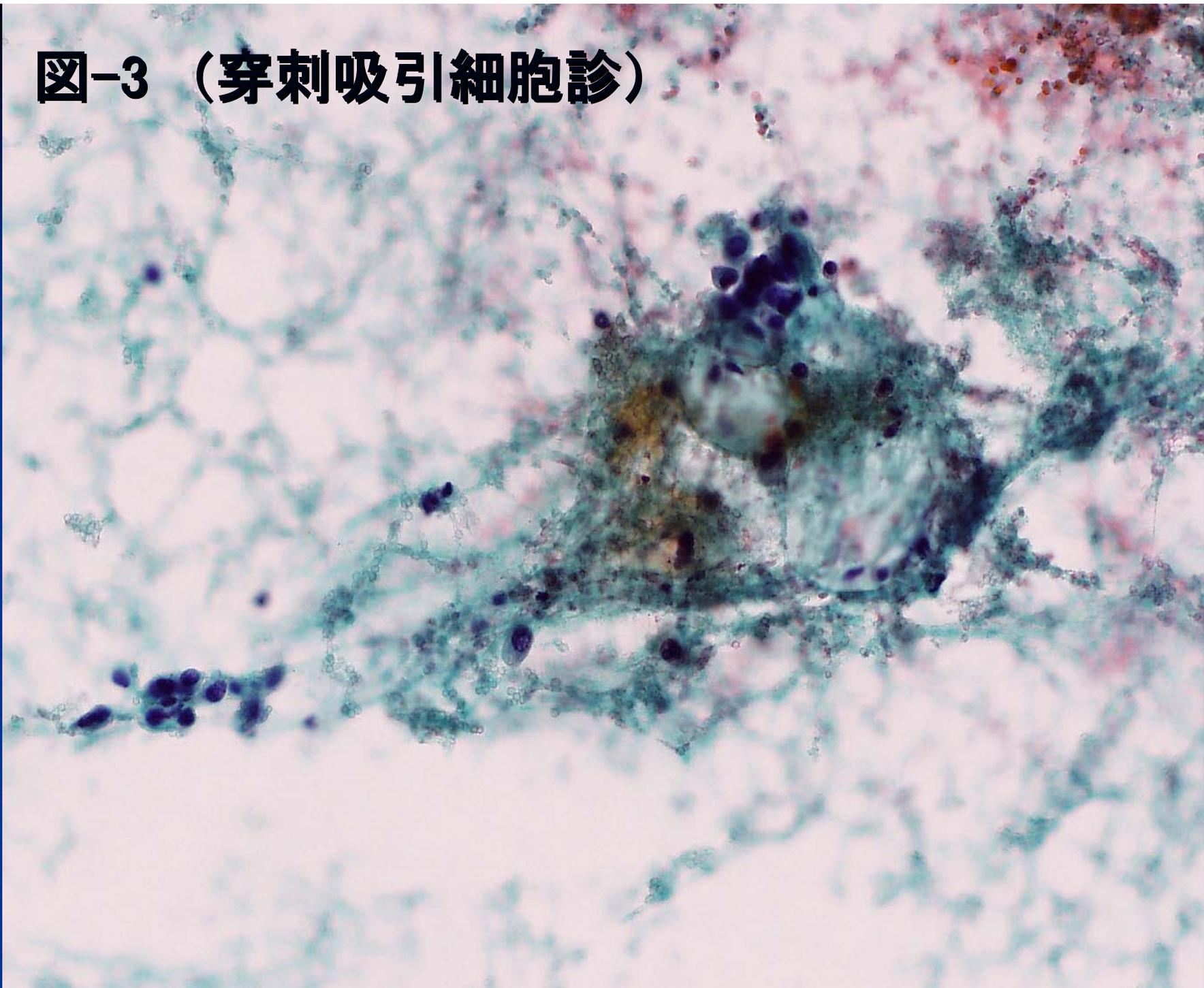
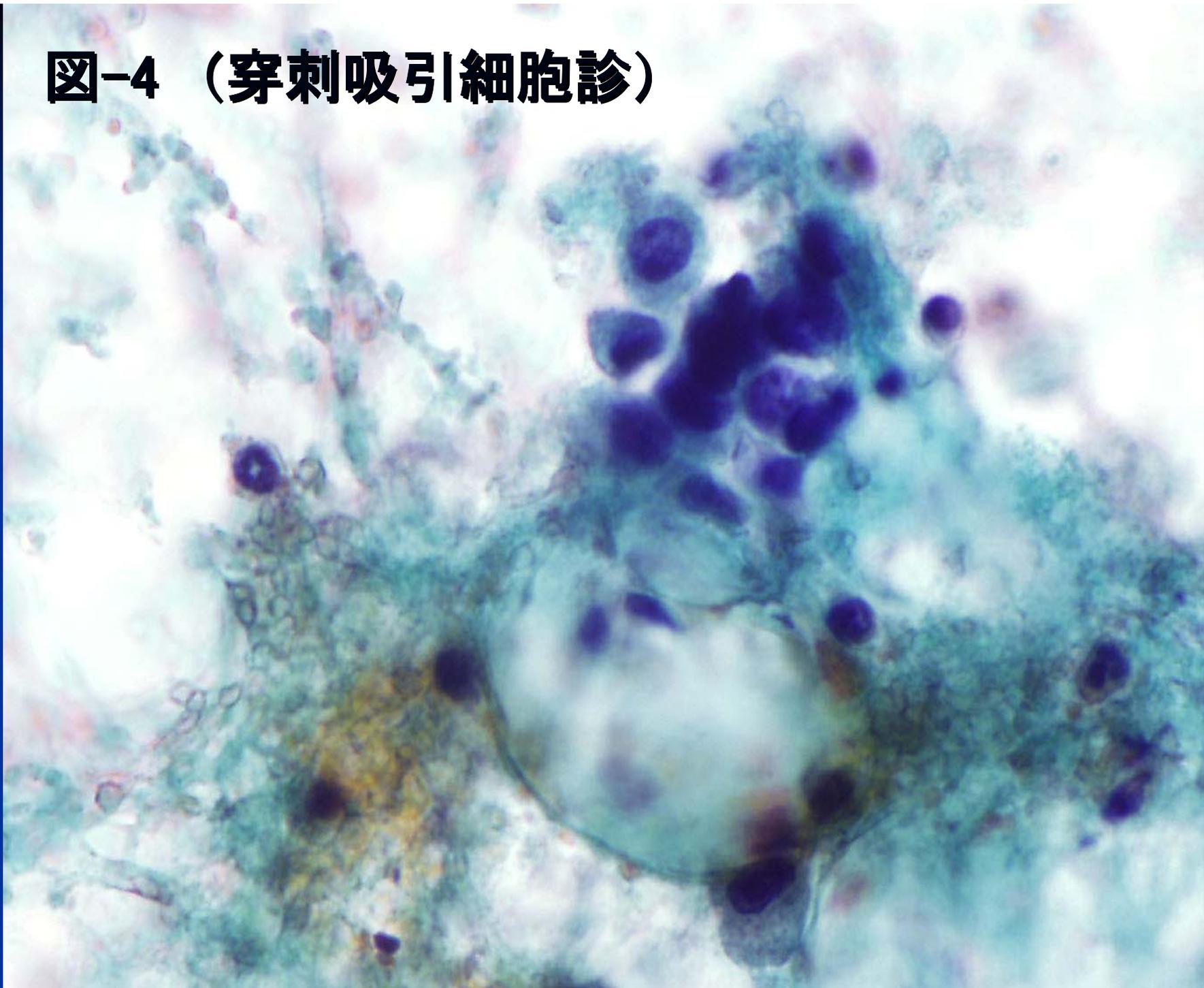
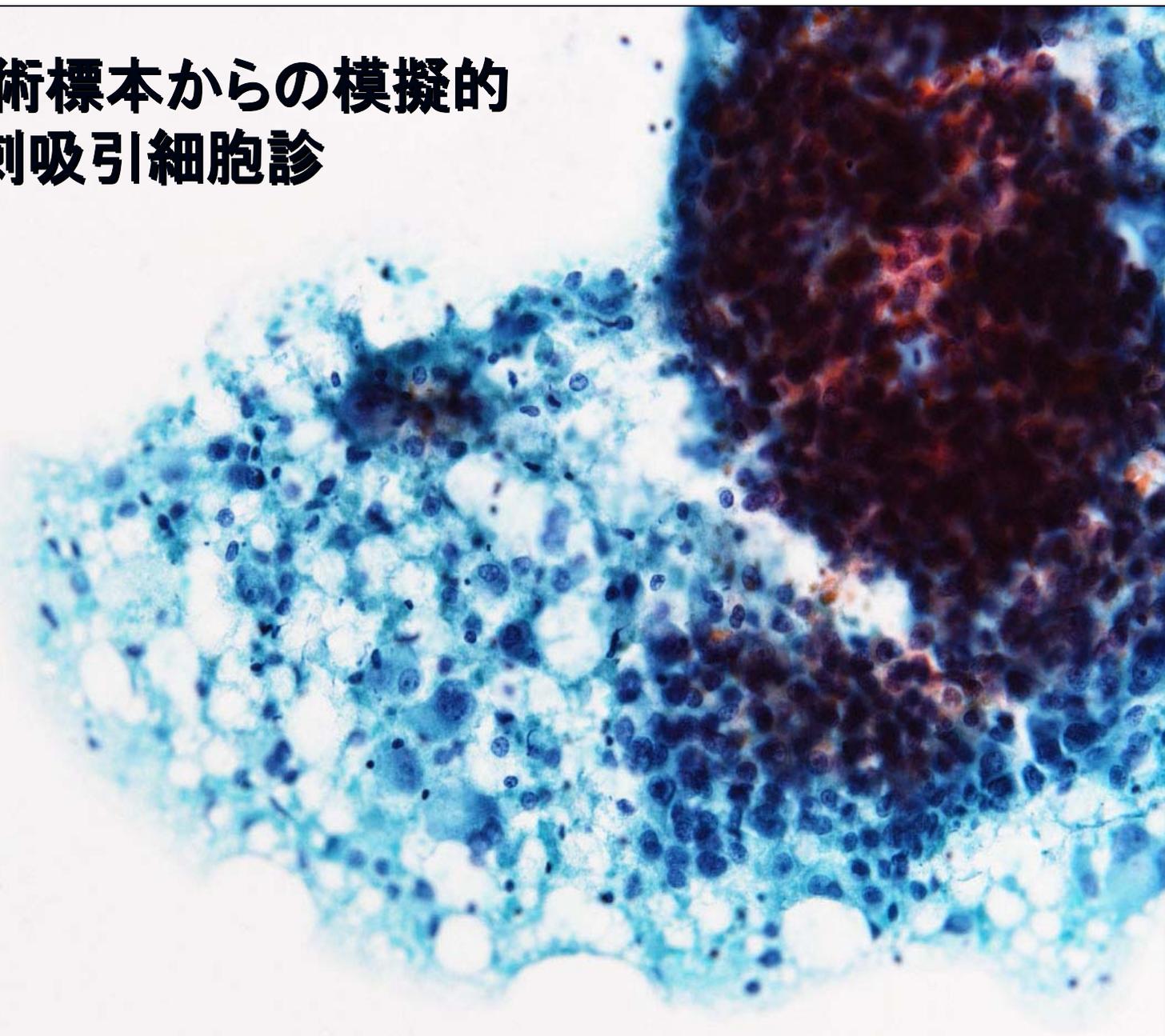


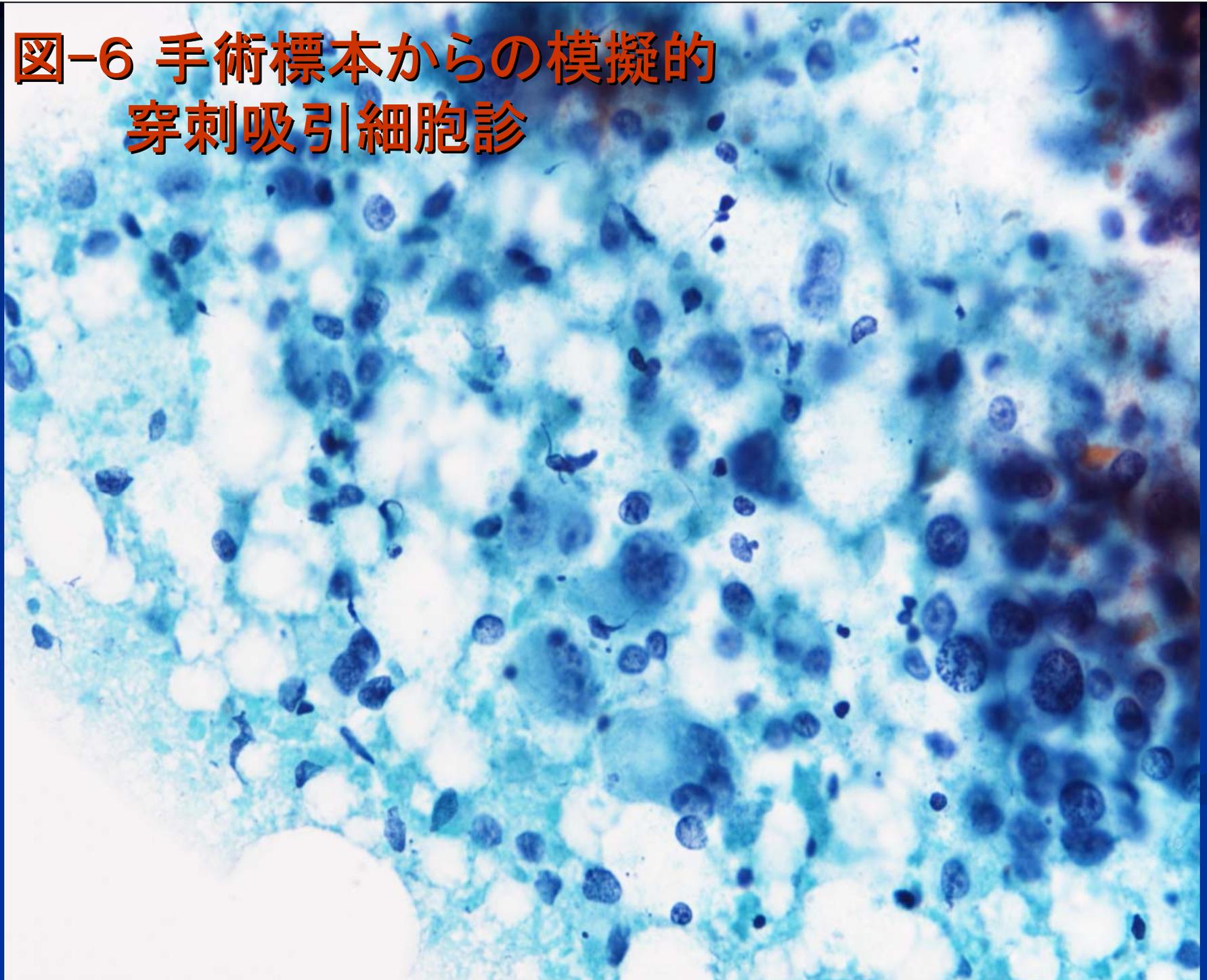
図-4 (穿刺吸引細胞診)



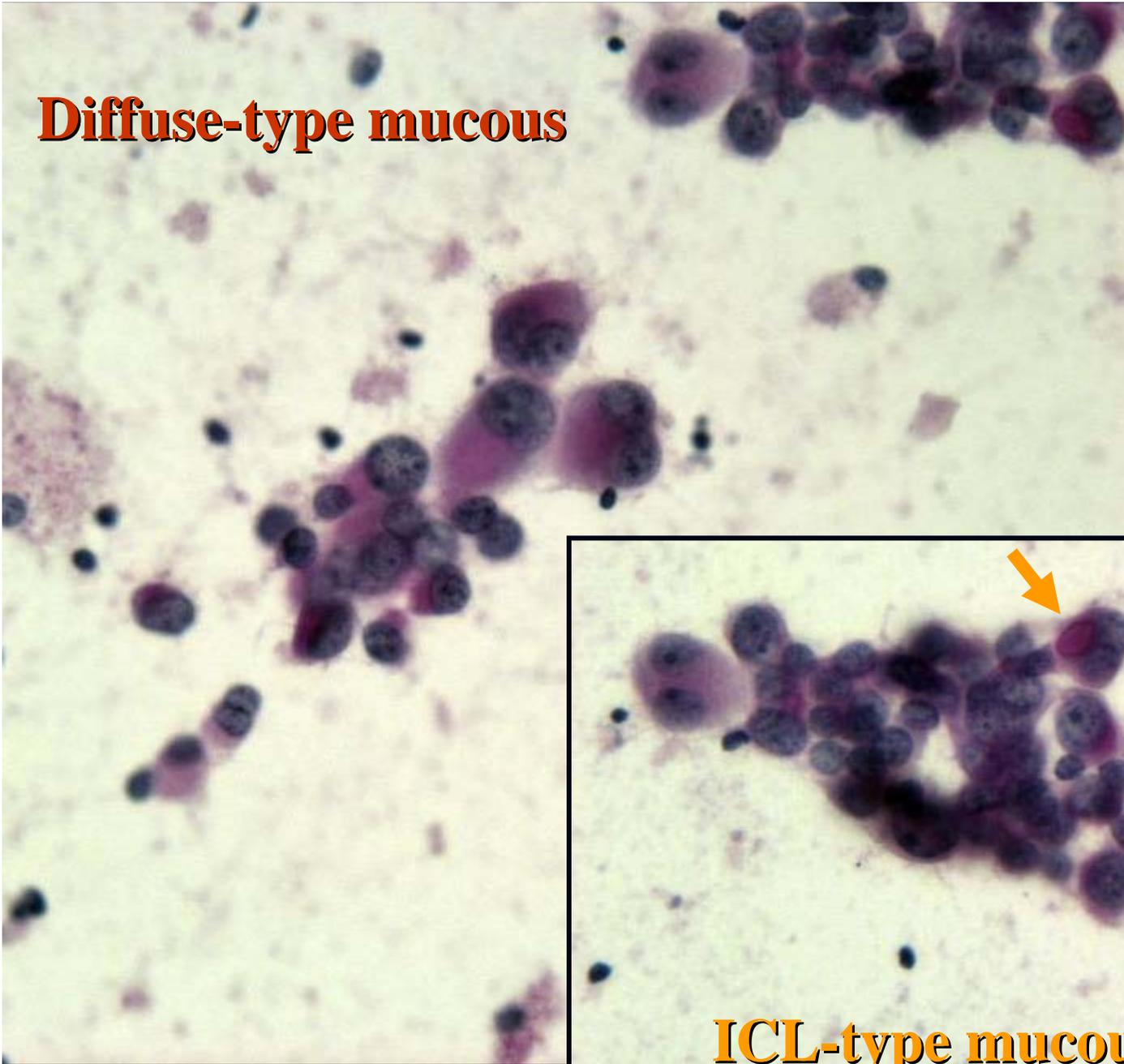
**図-5 手術標本からの模擬的  
穿刺吸引細胞診**



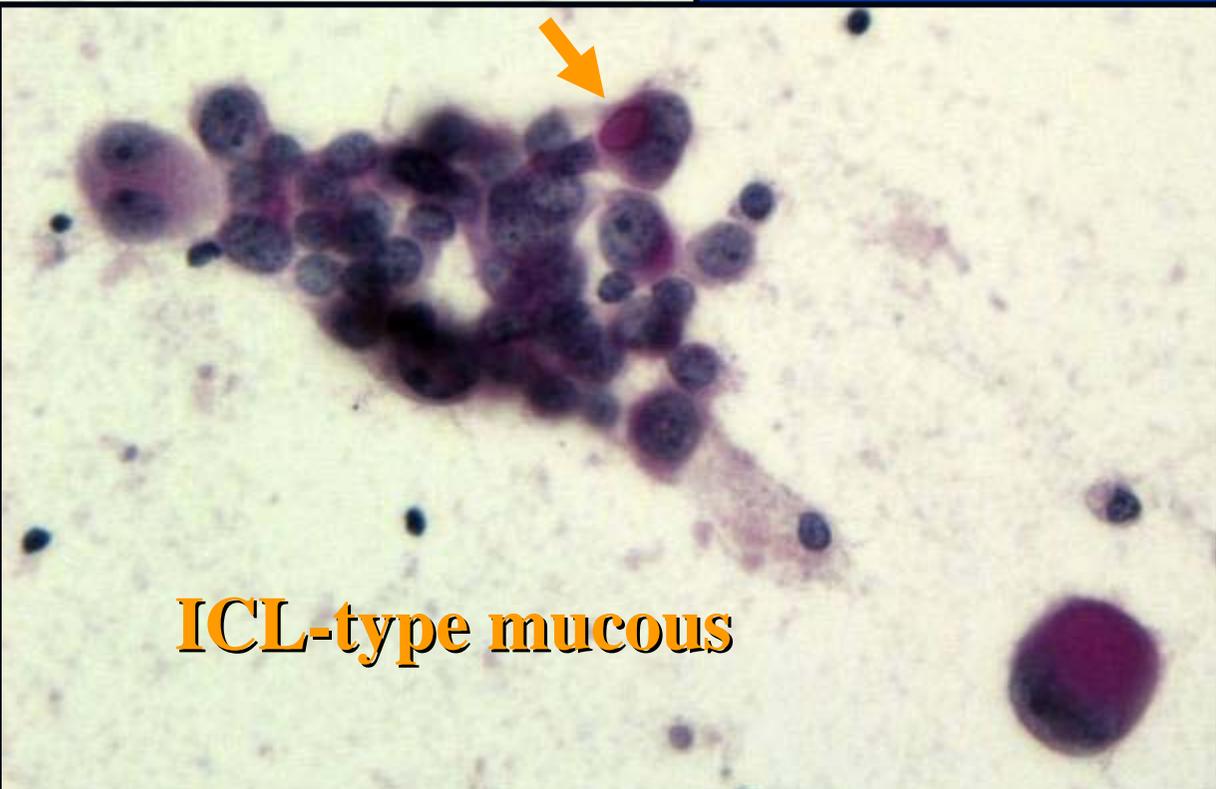
**図-6 手術標本からの模擬的  
穿刺吸引細胞診**



**Diffuse-type mucous**



**ICL-type mucous**



# 細胞診断

判定区分：

検体適正、悪性。

推定組織型：

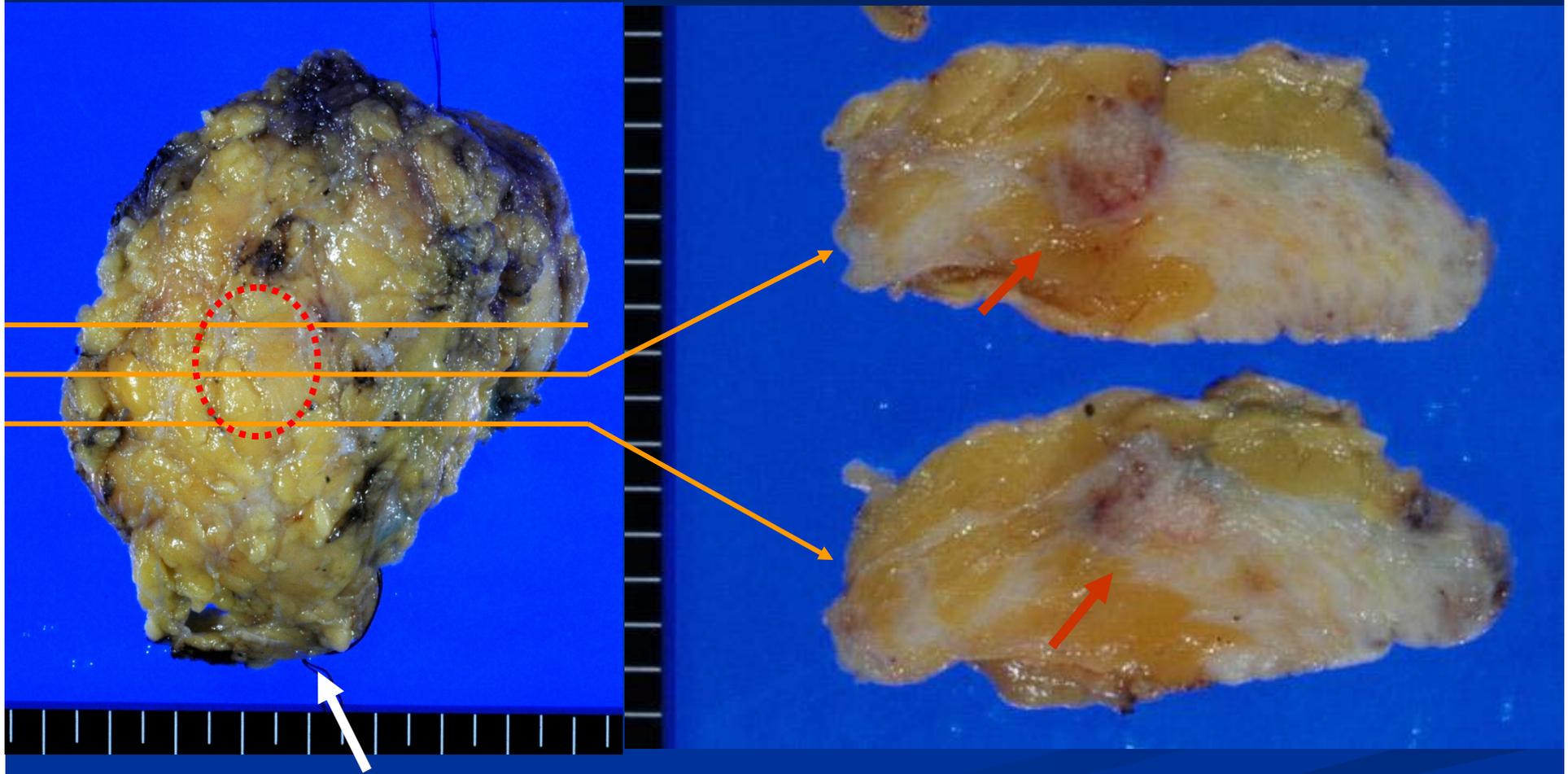
印環細胞癌（乳管癌起源）

Signet ring cell carcinoma

(originated from ductal carcinoma)

# 病理組織診断

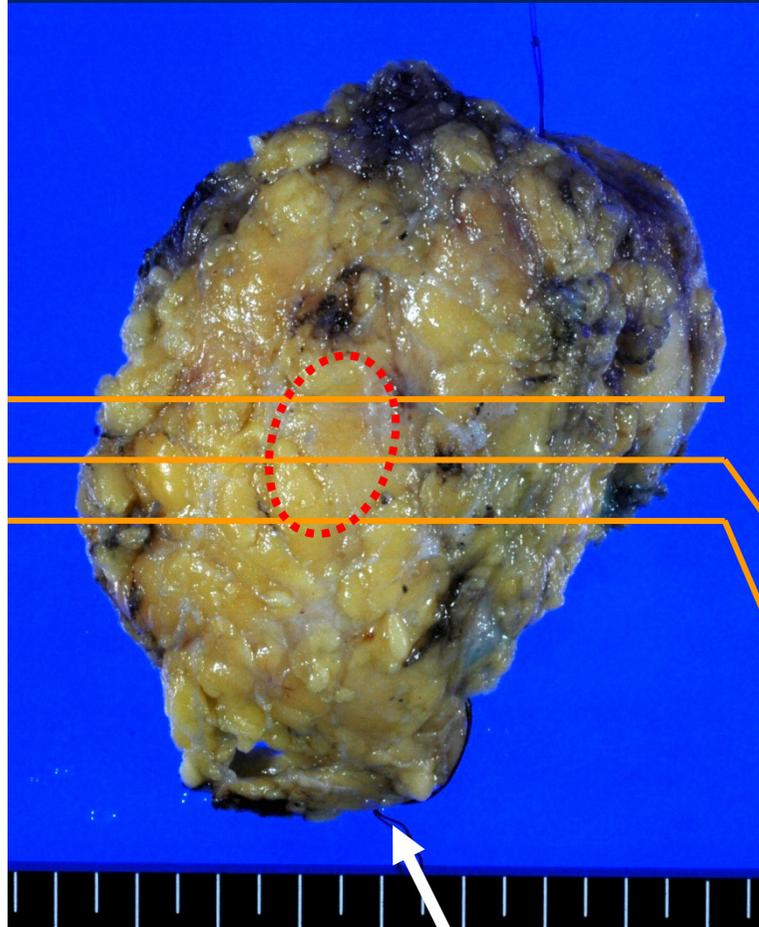
左乳腺上内側区 (AC) の部分切除検体：  
10 x 8.0 x 6.5 cm



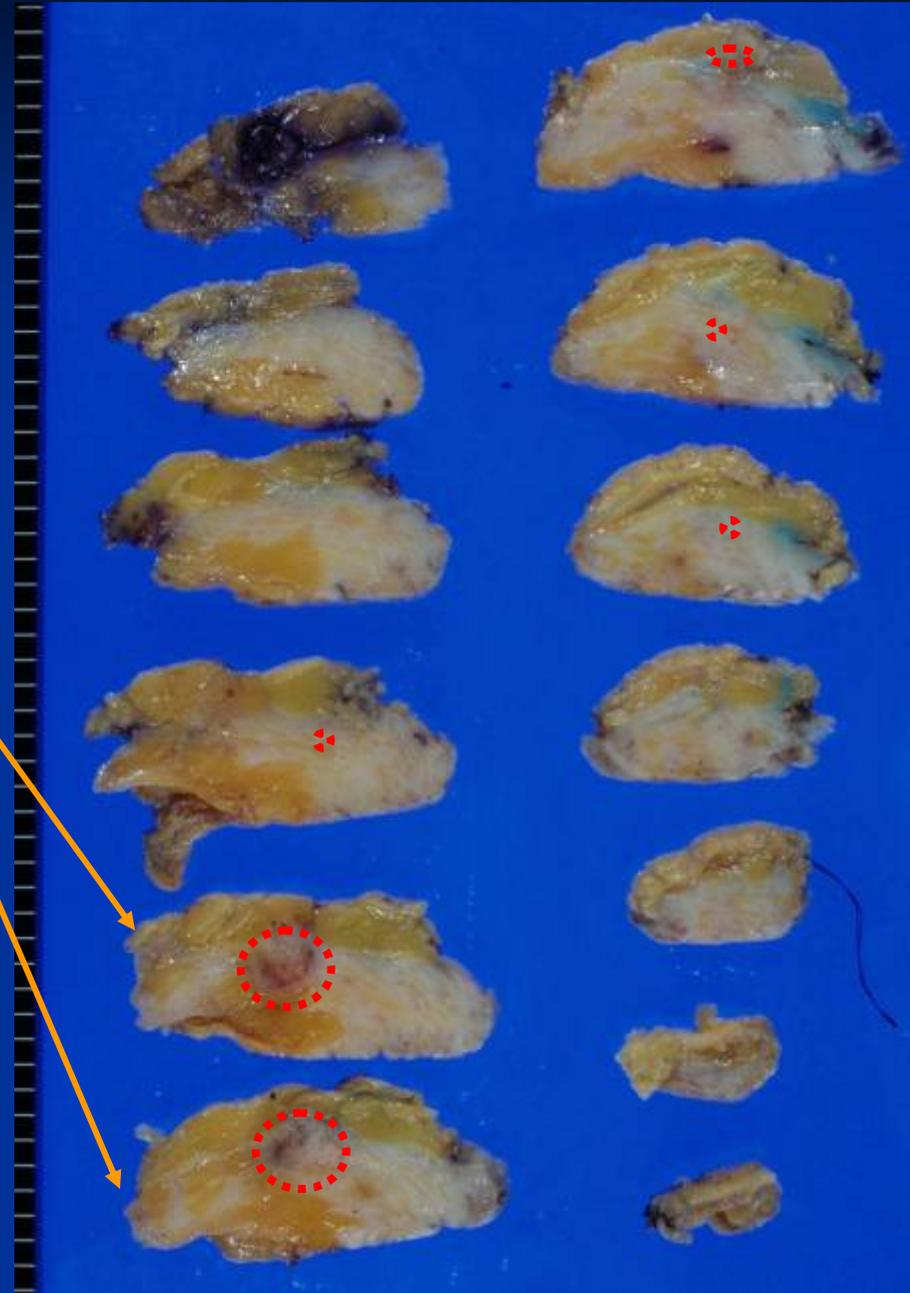
Nipple Side

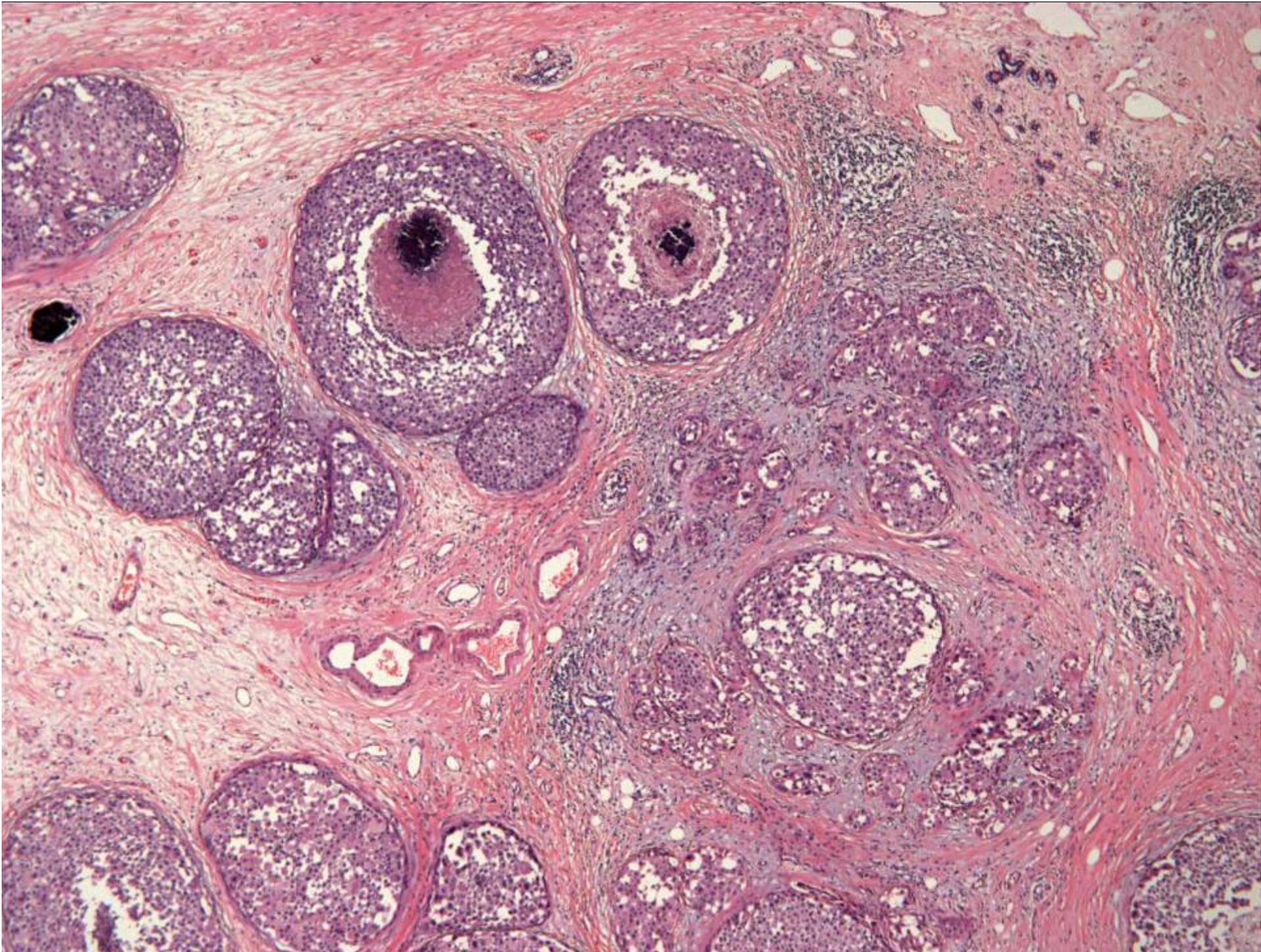
# 左乳腺上内側区 (AC) の部分切除検体 :

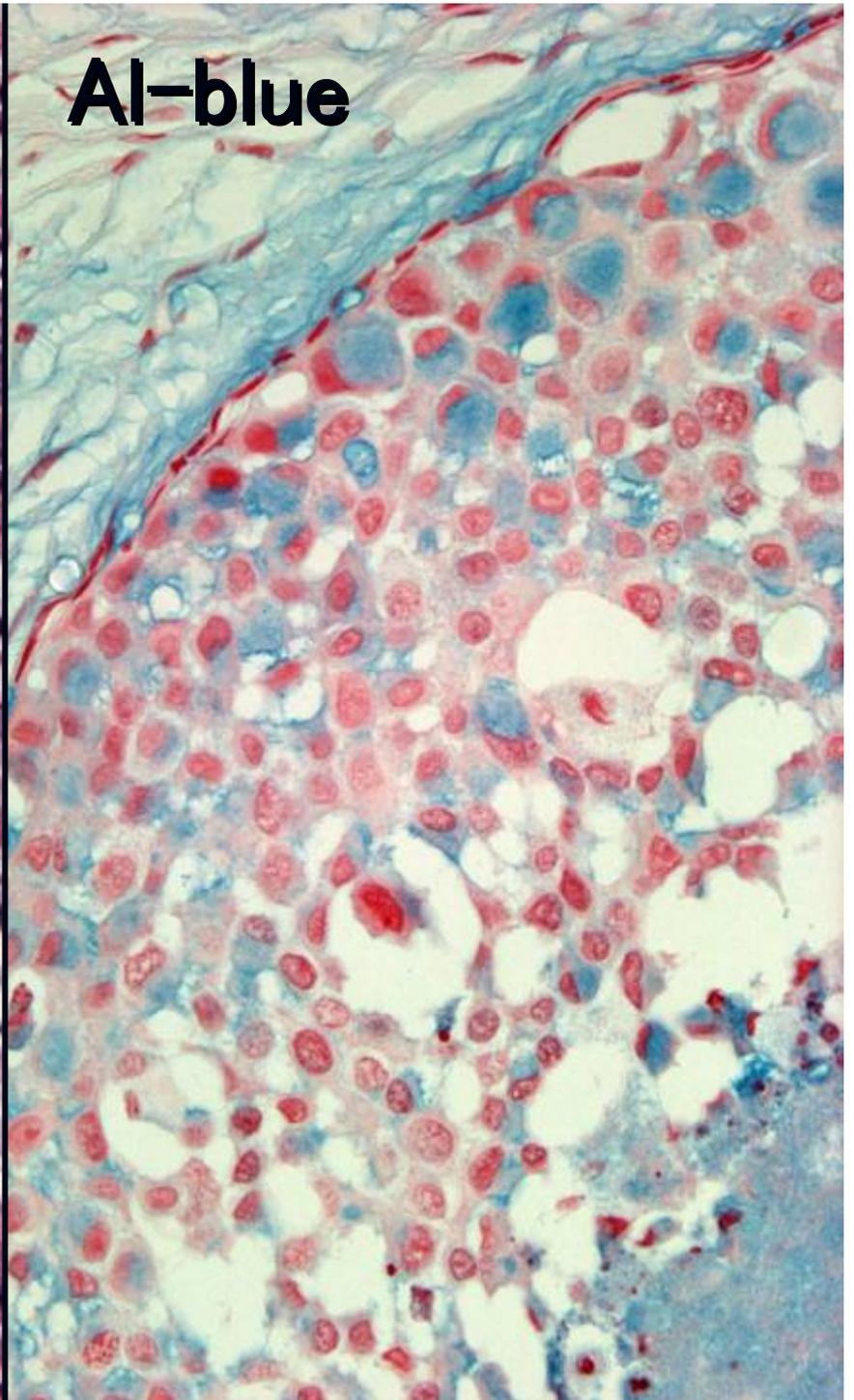
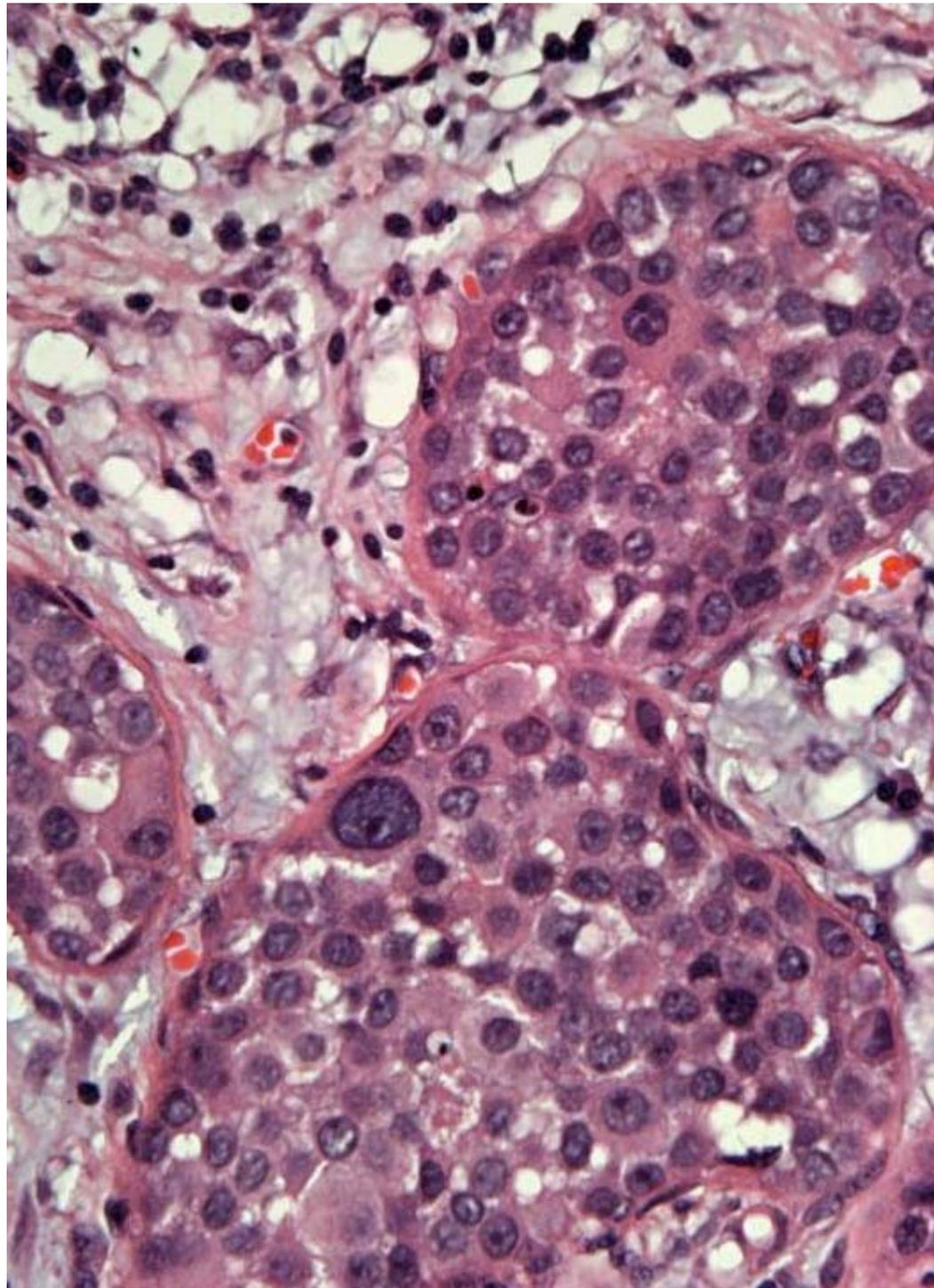
10 x 8.0 x 6.5 cm



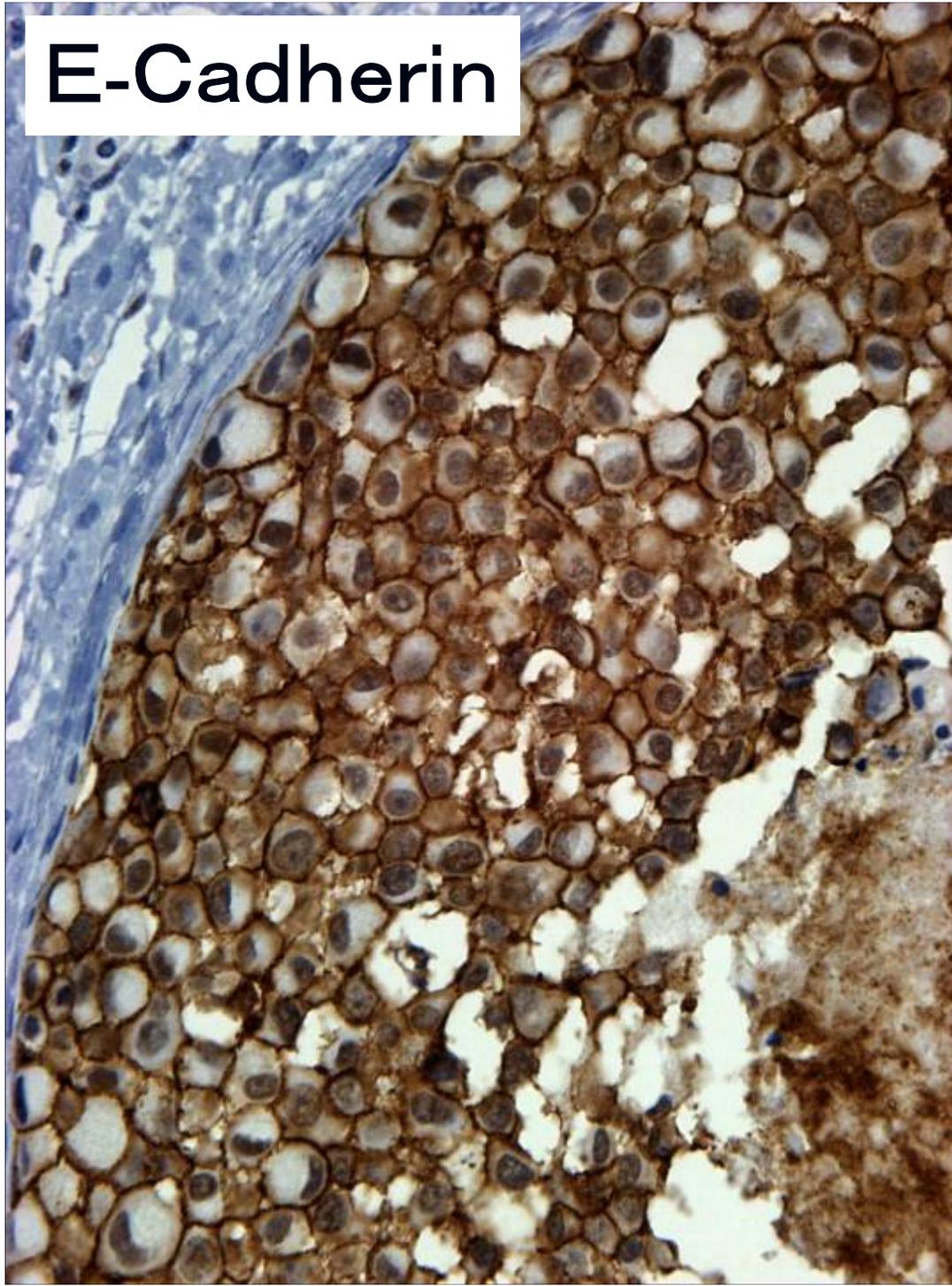
Nipple Side



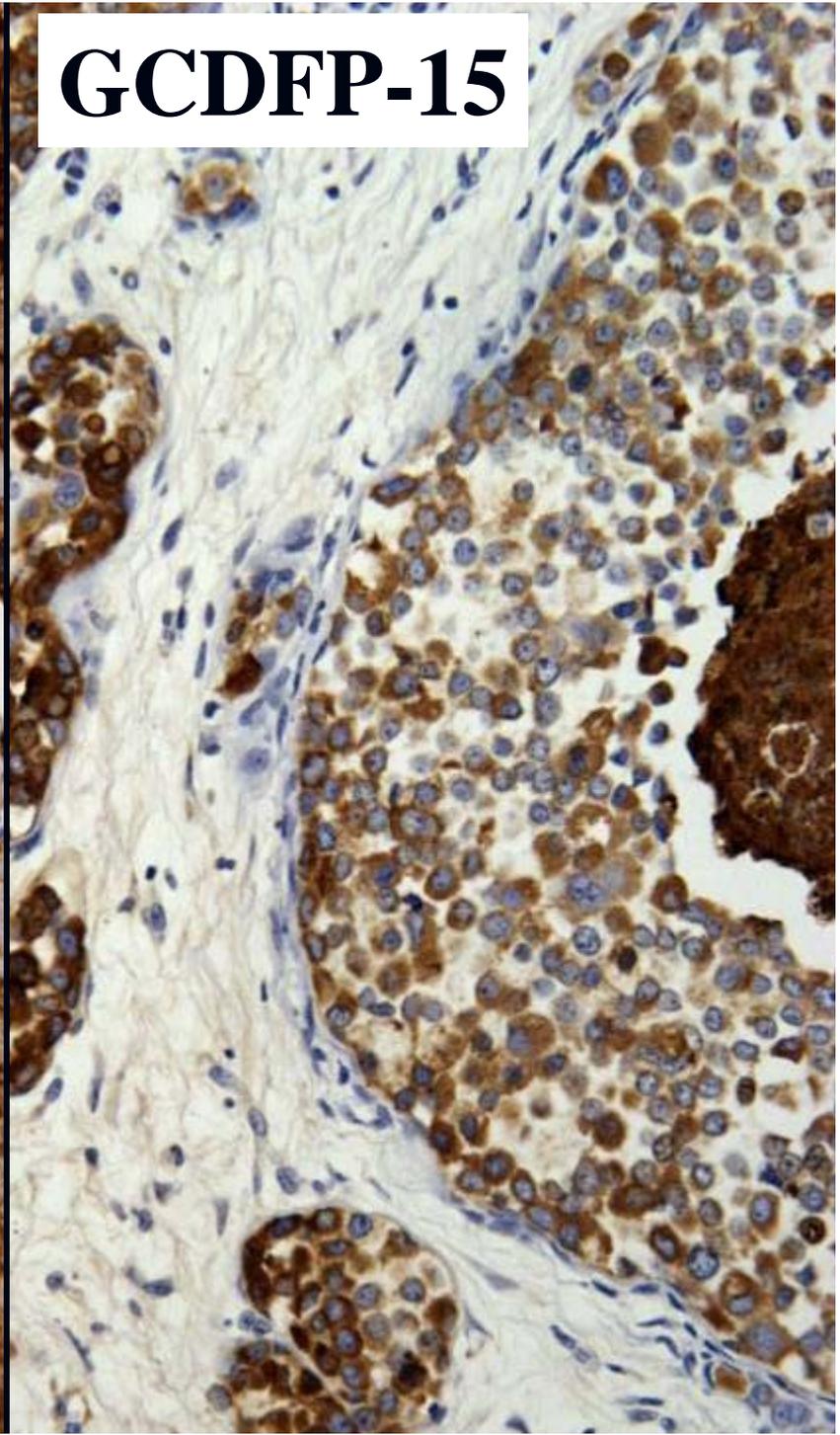




**E-Cadherin**



**GCDFP-15**



# 病理組織診断:

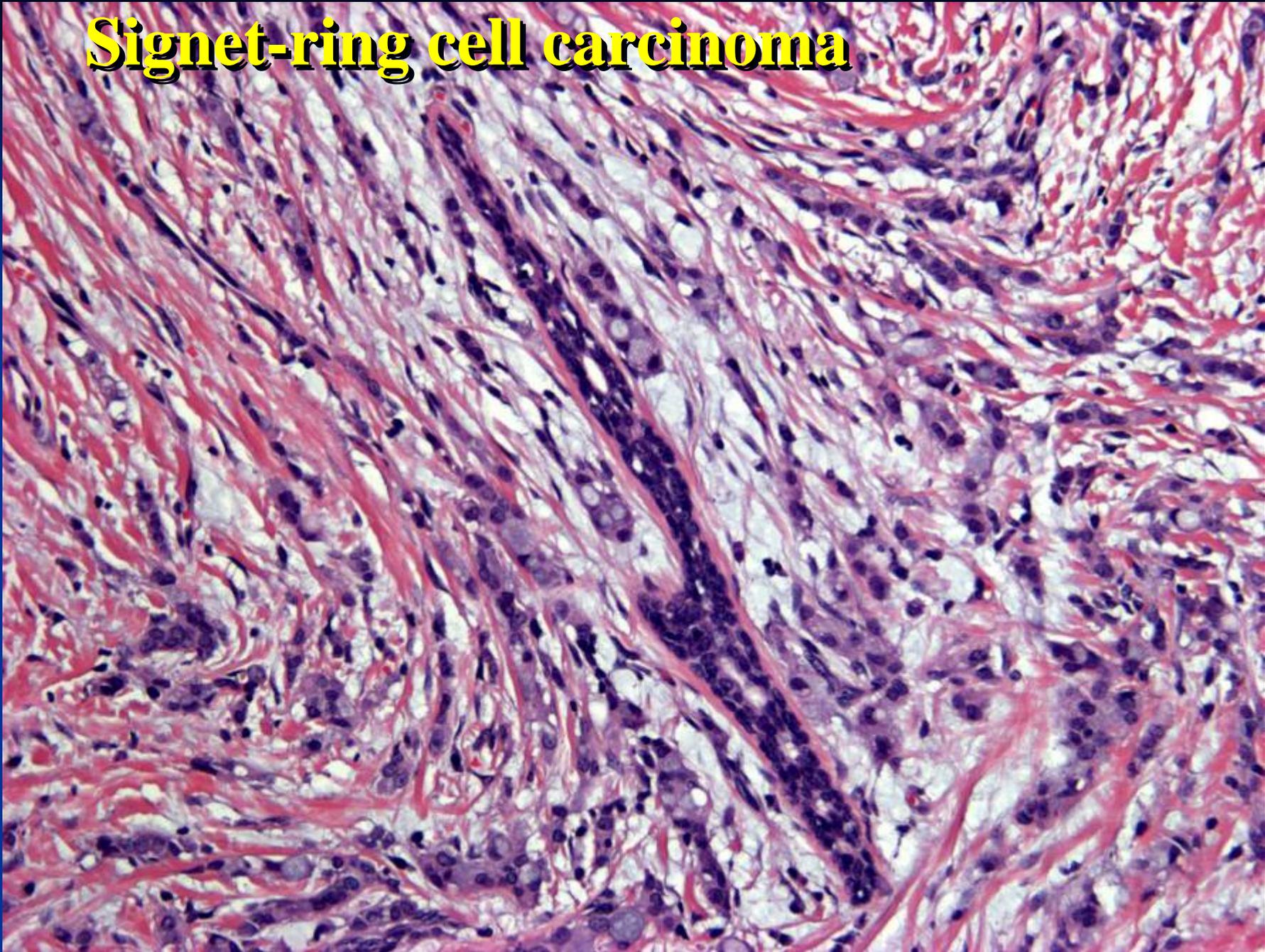
**Invasive ductal carcinoma of the left breast,  
with signet-ring cell carcinoma  
(DCIS, signet-ring cell variant)**

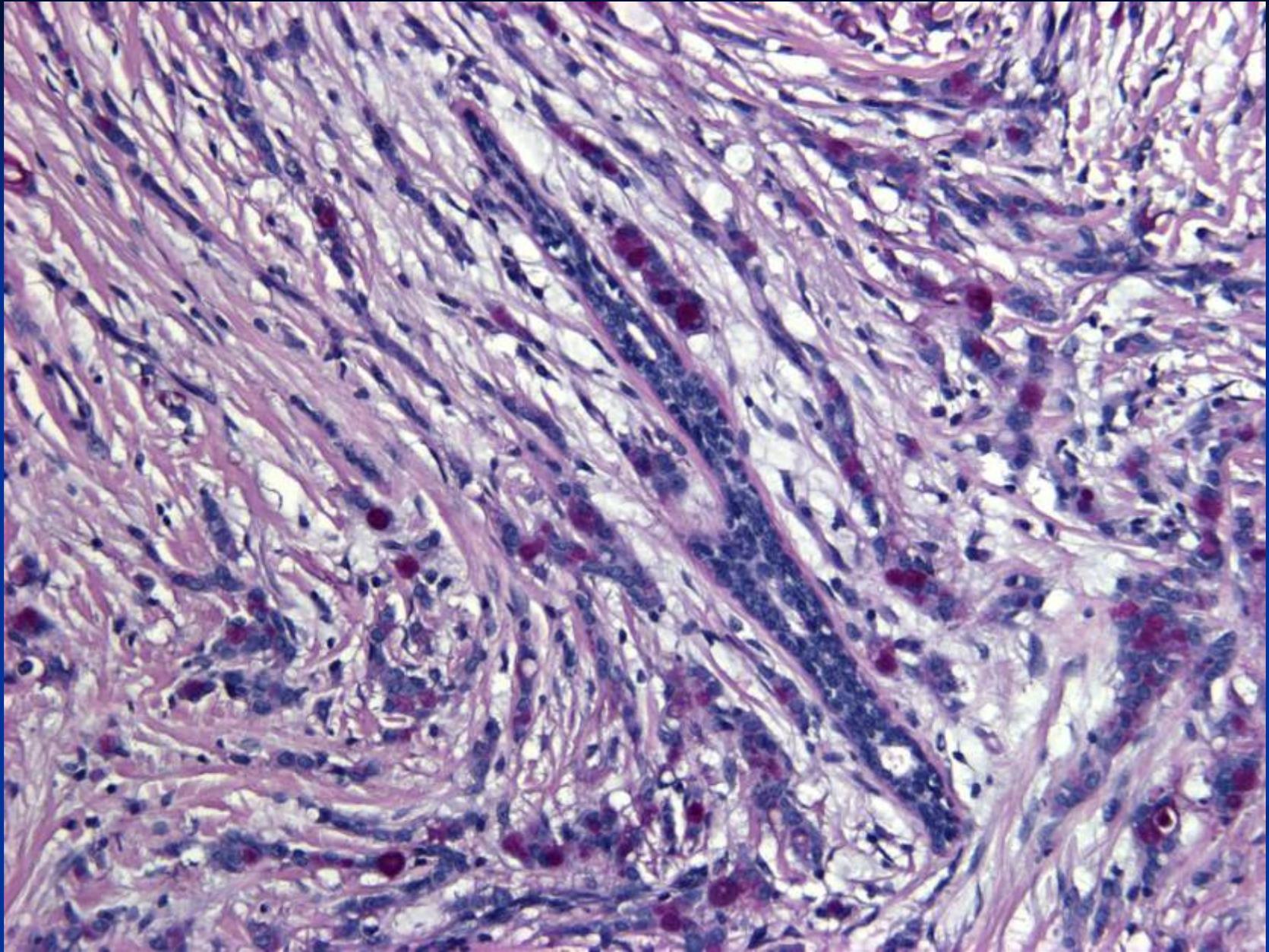
- 印環細胞癌を伴う乳管癌で、細胞質内にアポクリン化生様の酸性粘液がびまん性にみられる  
乳管内成分が殆どで乳管内進展を示す(3.5 cm)
- 免疫染色にて **E-Cadherin陽性、GCDFP-15陽性、ER(-), PgR(-), HER2 score 0**

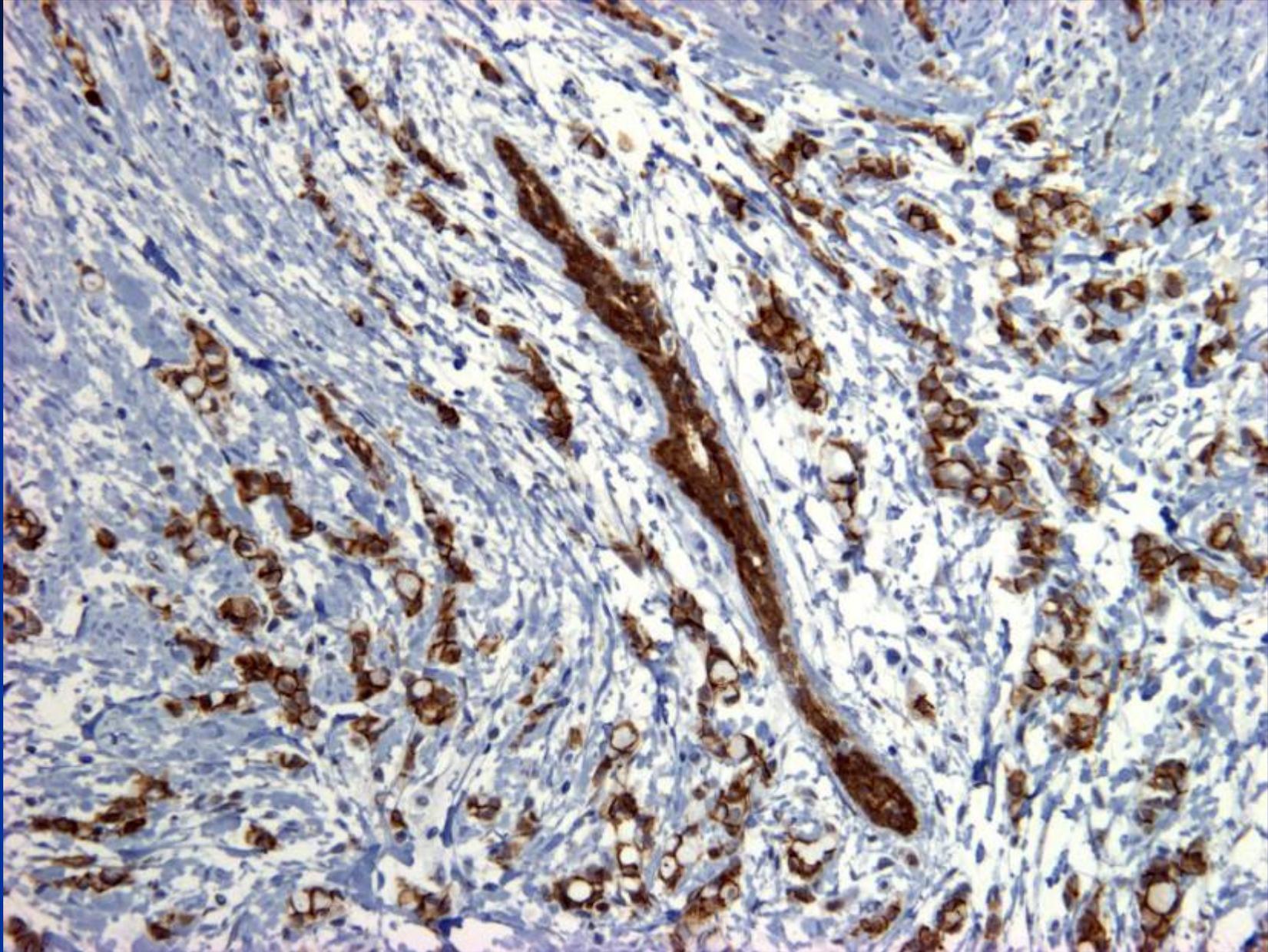
(鑑別診断)

小葉癌起源印環細胞癌ないし、**Pleomorphic type**  
および **Histiocytoid variant** の小葉癌

# Signet-ring cell carcinoma







# 細胞質内粘液を有する乳癌

Carcinomas with intracellular mucin (WHO 2003 ; p32より改変)

Histological type	Growth pattern	Origin ( <i>in situ</i> component)
Columnar mucinous carcinoma	Glands lined by a single layer of columnar cells	Ductal
Signet ring cell carcinoma	Isolated cells cords, clysters (non-cohesive)	Ductal Lobular (mainly)

# まとめ

乳腺の印環細胞癌 (Signet ring cell carcinoma) はそれ程稀ではなく、最近では小葉癌の増加に平行して、遭遇する機会が多い。印環細胞癌には、**小葉癌を起源**のものと**乳管癌起源**のものがあり、その理解を難かしくしている。提示例は乳管癌起源の印環細胞癌である。

乳管癌起源の印環細胞癌は通常の乳管癌とは異なる増殖、浸潤様式を示すことから、術前の細胞診標本で、組織型を推定診断をすることが望まれる。

細胞質内粘液をもつ乳癌細胞の鑑別のポイントは、小葉癌起源のものが主に**ICL型の細胞内粘液**をもつものに対して、乳管癌起源のもの胃印環細胞癌類似の**びまん性細胞内粘液**をもつ点があげられる。